

小学生を見たら “赤信号”

通学路で交通取り締まり

[2015/5/14 13:38]

子どもたちを交通事故から守ろうと、札幌市内の小学校の通学路で全国一斉交通指導取り締まりが行われました。札幌市北区の小学校の通学路では、子どもたちの登校時間に合わせ、警察官が全国一斉交通指導取り締まりを行いました。この取り締まりは、子どもたちの通学の安全を確保するとともに、ドライバーの交通ルールを守る意識を高めることが目的です。札幌方面北警察署交通第一課長）「5月から6月にかけて、小学生の事故が増える傾向にある。小学生を見たら“赤信号”だと思って、安全運転を心がけてほしい」

平成27年 春の全国交通安全運動 期間：2015/5/11(月)～20(水)

◆追突・バック事故の根絶◆

- ・前を走行する車には、適切な車間距離を保ちましょう
- ・交差点付近では、早目に減速しましょう
- ・わき見・漫然運転はせず、「危険意識」をもって運転に集中しましょう
- ・バック時は、必ず目で確認し、『安易なバック』はやめましょう

停車してる車両（バス・タクシー・子供の送り迎えの車）から渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない

歩行者・自転車・バイクの確認！ 見えたら「先に行かせる」

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

今年の道内交通死50人 65歳以上は31人、1.5倍に
「ドライバーも歩行者も安全確認を徹底して」

2015/05/15 07:00

函館市で12日、乗用車がスーパーに突っ込んだ死亡事故で、今年の道内の交通事故死者数は50人となった。昨年より1日早い。65歳以上の高齢者が31人と、前年同期の1.5倍に急増し、歩行中の高齢者がはねられるケースが目立った。

道警によると、歩行中に事故に遭った死者17人のうち、15人を65歳以上が占めた。札幌市東区では3月、道路を横断していた男性(78)が乗用車にはねられ死亡。現場にブレーキ痕がないことから札幌東署は、乗用車の男性運転手が事故直前まで男性に気付かなかつたとみている。死亡した男性は横断歩道から約5メートル離れた所を渡っていたとみられ、道警は「ドライバーも歩行者も安全確認を徹底して」と呼び掛ける。

月別の死者数では、4月は17人と前年の1.4倍に上った。道警交通企画課は「雪解けが早く、全体的に車の走行速度が上がった」と分析する。事故形態別では車両単独事故による死者が18人、車同士の衝突事故、車が人をはねた事故がそれぞれ15人だった。車が自転車をはねた事故は前年同期はゼロだったが、今年には既に2人死亡している。

渋滞の乗用車に大型トラック突っ込む 1人死亡
トラックの運転手は、「前を見ていなかった」と話してる

2015/05/05 23:20

5日午後3時ごろ、愛知県の名神高速で、大型トラックが渋滞で止まっていた乗用車に追突し、乗用車を運転していた、会社員の女性(49)が死亡した。トラックの運転手は、「前を見ていなかった」と話している。

「相手に気づいてブレーキを踏んだが間に合わなかった」
『信号機』や『一時停止線』のない交差点、バイクと出合い頭に衝突

[2015/5/4 19:55]

4日午前3時40分ごろ、鹿児島県の交差点で、代行業者の軽乗用車と原付バイクが出合い頭に衝突した。この事故で、原付バイクを運転していた男性(65)が死亡。警察によると現場の交差点に信号機や一時停止線はなかったという。軽乗用車を運転していた、50歳の男性は「相手に気づいてブレーキを踏んだが間に合わなかった」と話しているという。